

A144

**INK RIBBON CASSETTE FOR TYPEWRITER OR SIMILAR MACHINE**

**Patent number:** JP63224986  
**Publication date:** 1988-09-20  
**Inventor:** YOHANESU HAFUTOMAN  
**Applicant:** TRIUMPH ADLER AG  
**Classification:**  
- **International:** B41J32/00  
- **European:**  
**Application number:** JP19870199269 19870811  
**Priority number(s):** DE19873707807 19870311

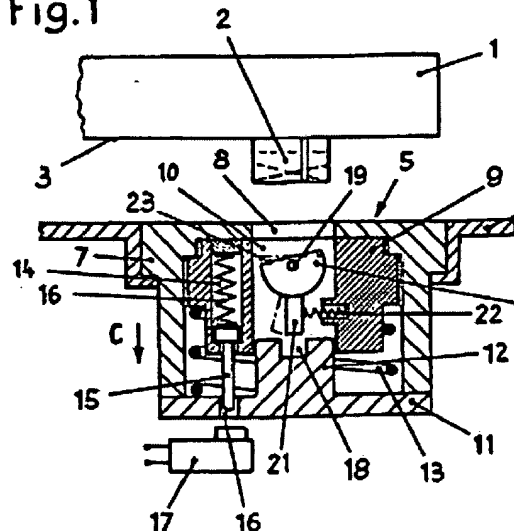
Also published as

	GB220194
	CH673011
	IT1222759
	DE370780

Abstract not available for JP63224986

Abstract of correspondent: **GB2201945**

The subject of the invention is a ribbon cartridge (1) matched to a mounting device of a typewriter (or similar machine), an opening (8, 10) being provided in the mounting device (5) and serving for the insertion of a correspondingly designed projection (2) on the ribbon cartridge (1). The projection has its end face divided into a number of zones at different heights and/or angles, the zones co-operating with blocking elements (20) in the manner of a key in a security lock. Only when all of the elements (20) are correctly displaced can the projection be fully inserted and the machine freed for operation.

**Fig.1**

## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭63-224986

⑤ Int. Cl. <sup>4</sup>

B 41 J 32/00

識別記号

庁内整理番号

7339-2C

④ 公開 昭和63年(1988)9月20日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 タイプライタ又は類似の機械のインクリボンカセット

⑰ 特 願 昭62-199269

⑱ 出 願 昭62(1987)8月11日

優先権主張 ⑳ 1987年3月11日㉑ 西ドイツ (D E) ㉒ P3707807.0

⑲ 発 明 者 ヨハネス・ハフトマン ドイツ連邦共和国、シユウアーバツハ、イーゲルスドルフ  
エル・ウエーク、14⑳ 出 願 人 テー・アー・トリウム ドイツ連邦共和国、ニユールンベルグ、フュルテル・スト  
フーアドレル・アクチ  
エンゲゼルシャフト  
ラーセ、212

㉑ 代 理 人 弁理士 江崎 光好 外1名

## 明 細 書

1. 発明の名称 タイプライタ又は類似の機械のイン  
クリボンカセット

## 2. 特許請求の範囲

(1) タイプライタ又は類似の機械の収容装置のためのインクリボンカセットにして、その際収容装置には輪郭の付いた孔が設けられており、その孔はインクリボンカセットに相応して形成された突起を差し込むために使用される、前記インクリボンカセットにおいて、

突起(2)は個々の相異なる高さ及び又は相異なる傾斜の範囲(4)に分けられており、これらの範囲は凹部(8、10)中に配置された一種の錠の係止要素(20)とインクリボンカセット(1)の挿入の際に符合し、それによって機械側に配置されたスイッチ(17)が作動可能であることを特徴とする前記インクリボンカセット。

(2) 突起(2)の輪郭は例えば企業商標の構成に相応している、特許請求の範囲第1項記載のイン

クリボンカセット。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明の対象はタイプライタ又は類似の機械の収容装置のためのインクリボンカセットにして、その際収容装置には輪郭の付いた孔が設けられており、その孔はインクリボンカセットに相応して形成された突起を差し込むために使用される、前記インクリボンカセットに関する。

(従来の技術)

この種のインクリボンカセットは例えば西独国特許公開公報3213669号並びにその追加出願である西独国特許公開公報第3220404号から公知である。しかしそこで提案されたインクリボンカセットの構成及び機械側に配置された必要な電子的読取装置は非常に高価である。このことは特に不利である、そのわけは読み取りの間インクリボンカセット上の情報と読み取りヘッドとの間に相対的運動が生ずることになるからである。さらにカセットが正しか間違いかの識別のために非常に時

間を要する。

( 発明の課題 )

本発明の課題はインクリボンカセットをその識別が時間損失なしにかつ簡単なかつ安価な手段で行うことができるように形成することである。

( 課題の解決のための手段 )

本発明の課題は特許請求の範囲第1項の特徴に記載された構成によって解決される。

( 発明の効果 )

インクリボンカセットの突起は鍵に、そして凹部の阻止要素は錠に相当する。両者が相互に合致した場合には機械の運転を可能にし又は阻止するスイッチが作動されることができる。阻止要素の範囲における幾分多い出費によって追加的にインクリボンカセットの挿入の際に所定のインクリボンの種類を最適にインクリボン送りステップを調整するためにいかなるインクリボンの種類がカセットに好適かも機械が認識することが達成される。このために阻止要素に例えば接点が配置され、接点は開閉されそしてインクリボンの種類に相応し

インクリボンカセットの他に第1図中に例えば一種の錠5が示され、錠は機械側のインクリボンカセット1の収容装置6に設けられている。続いて錠5と突起2との協働作用を記載する。然しまず錠5の構成を記載する。ハウジング7中にはその上側にセンタ孔8が設けられており、この孔は軸線方向に移動可能なシリンダ9に続いている。孔はシリンダ中で10で表される。ハウジング7は下方に底部分11を備え、その中央にスタンプ12がシリンダ9の孔10中に進入している。底部分11とシリンダ9との間にばね13が張られており、ばねはシリンダ9を収容装置6の方向に押圧付勢している。軸線のずれた孔14中にはスリット15が移動可能に支承されており、スリットは他のばね16の作用の下にある。ピン15は底部分11の孔16中に進入している。機械において孔16の下方に電気スイッチ17が配置されている。

スタンプ12は横に向いたスロット18を備えている。その上方に且つこれと平行に小さい軸19が配置されており、軸上には阻止要素20が旋回可能に

た符合と比較され、符合は機械のマイクロプロセッサに伝達される。

( 実施例 )

インクリボンカセット1について第1図には一部分のみが側面図で示されている。インクリボンカセットの下面には突起2が形成されており、突起は第2図に示すように例えば企業商標を示すことができる。突起2はインクリボンカセット1の基面3上に関して相異なる高さの範囲4を有する。理解をよくするために付言すれば、第1図中の突起2は第2図中の矢印Bの方向に見たものに相応している。第3図において範囲4は鍵の符合部に相応する。その際個々の範囲4の基面は第1図中突起2の一点鎖線によって示されるように追加的に傾斜して経過することができる。

直ちに明らかなように、インクリボンカセット1は突起2の配置及び形成によって高価にならない、そのわけは突起は例えばインクリボンカセットの射出の際に同時に成形されるからである。追加的な組立コストは節約される。

支承されている。阻止要素はフィンガ21を有し、フィンガはばね22の作用の下にある。ばねは阻止要素20をフィンガ21がシリンダ9の矢印C方向への運動の際にスロット18中に進入することができずに、むしろシリンダ12に支持されるように付勢している。阻止要素20の数は突起2が分割されている範囲4の数に相応する。全ての阻止要素20のフィンガ21がスロット18に向けられる場合、範囲4の基面が経過する角度に直線縁23が相応している。

収容装置6上にインクリボンカセット1がセットされる場合、突起2は孔8/10中に進入する。その際突起2の範囲4と阻止要素20の縁との接触が生ずる。範囲4が阻止要素20に相応して形成されかつ一致、即ち錠22°及び錠5°と協働して阻止要素20の全てのフィンガ21はスタンプ12のスロット18上で一列に整直される。突起2の押し込みの際シリンダ9はばね13に抗して矢印Cの方向に移動し、その結果ピン15によってスイッチ17は機械の解放の方向に操作される。唯1つの阻止要素20

のみが突起2の範囲4と一致した場合相応するフィンガ21はスロット18には向けられない。フィンガ21はスタンバ12に突き当たり、その結果シリンダ9は移動されることができないようになる。第1図に一行に整直されない阻止要素20が一点鎖線で示されている。この場合ピン15はスイッチ17を作動させることができない。更にインクリボンカセット1は収容装置6に載せられるまでは挿入されない。それによってインクリボンカセット1に簡単な手段で運転中の相応して装備したタイブライト又は類似の機械を得ることができる。第1図に記載された錠5は一例である。他の構成も可能である。例えば安全シリンダ錠として公知のピンが設けられることもできる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は収容装置上への載置の直前に突起を備えたインクリボンカセット、第2図は突起の平面図そして第3図は第2図の矢印A方向に見た側面図である。

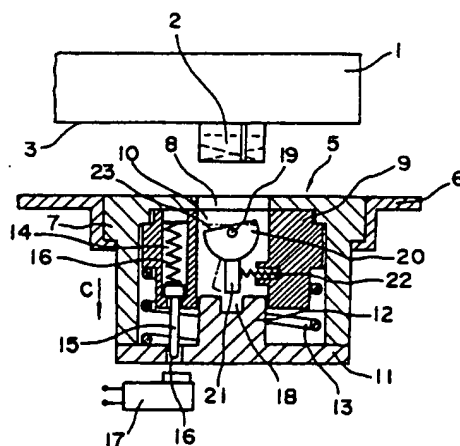
図中符号

- 1 . . . インクリボンカセット
- 2 . . . 突起
- 4 . . . 範囲
- 8、10 . . . 凹部
- 17 . . . スイッチ
- 20 . . . 阻止要素

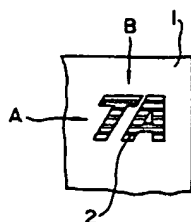
代理人 江崎光好

代理人 江崎光史

第1図



第2図



第3図

